



カタツムリが通ったあと、ぬれているのはなぜ

ねん液を出して進むから

カタツムリは、足の裏から、大量のねばねばした液体を出しながら、足の筋肉をのばしたり、縮めたりして前に進みます。とう명한ガラスや、プラスチックの板の上に、カタツムリをはわせて、裏側から見ると、ぴったりはりついた足の裏の、しっぽの方から頭にむかって、うすい横じまが波のように進むのがわかります。カタツムリは、なめらかな足の裏と、そこから出るねん液で、つるつるの面でも、吸盤が吸いつくようにはりついて、ちょっと引っ張ったくらいでは、引きはがせません。また、カタツムリは、細い針金や草のつる、やわらかい葉の上でも、このねん液と、自由に形を変形できる、足の裏のおかげで、はいまわることができます。

ねん液は、たんぱく質

カタツムリの足から出るねん液は、たんぱく質がたっぷり入っています。かわくと、銀色の膜になります。カタツムリが通ったすぐあとは、このねん液でぬれています。時間がたてば、かわいた銀色の足あとが残ります。

このカタツムリがはったあとのねん液は、塩水で洗うときれいにおちます。ナメクジの出すねん液は、カタツムリのものとは少しちがいますが、やはり、塩水できれいになります。

(監修・中山 周平)

